

# 本郷 図書だより

第 117 号 23.06.01

本郷公民館発行

図書委員会編集

電話 46-1500

## ◆◆本との語らい◆◆

本郷図書館 司書 深瀬 京

私の本との出会いは、まだ物心つく前。保育士だった母が毎夜読み聞かせてくれる、たくさんの絵本でした。中でも、気に入って何度も読んでもらった絵本たちは、大人になった今でもよく覚えていきます。読書家の父の影響もあり、小学生の頃には私も本好きに。学校の図書室と、近所にある中央図書館を往復する日々でした。



小学校の図書室で出会い、今も変わらず好きな本を一冊ご紹介いたします。  
湯本香樹実の『夏の庭』。人間の「死」に興味を持った小学生の男の子三人が、近所の一人暮らしのおじいさんを観察するところから始まります。やがて、ぎこちなくも仲が深まっていくおじいさんと三人。少年たちはおじいさんとの交流を通して、命の尊さに触れます。そしておじいさんもまた、少年たちとの交流を通して生きる活力をもらいます。



難しいテーマであり、結末は少し切ないですが、少年たちの成長とおじいさんの温かさ、そして爽やかな読後感が大好きな本です。



湯本香樹実／著 新潮文庫

### やまぼうし

コロナ禍が始まって三年が過ぎ、ようやく落ち着きが見られる様になり、様々な制約も緩やかになって、いつになく早い開花となった今年の桜は久々に晴れやかな気分です。



### テラスの風

日々の生活の中で、本を一冊読むことはなかなか大変です。自分のペースで無理せず、本と親してみたいと思っています。最近読んだ本を紹介します。「風良ゆう著『わたしの美しい庭』ポプラ社です。

小学生の百音とその保護者の統理は血縁関係がないが二人で暮らしています。そのマンションの屋上には小さな神社があり、統理が管理しています。「縁切り神社」と呼ばれるその神社に訪れる人々の物語です。訪れるひとそれぞれに色々な人生があつて、力強く生きていく姿に勇気をもらえるお話です。



街が賑わうのは嬉しい事だ。マスクを外した小学生の笑顔、元気な声を響かせてお散歩する園児達の愛らしい姿は明るい気分させてくれる。  
青空の下、小鳥の囀りを聞きながら次から次へと品を替えて来て来る雑草を相手に出来るのも元気なればこそ。幸いなことなのだろうと今日も庭に出る初夏の日です。

今年度の図書委員です。  
山本勝夫（浅間温泉）  
大谷恭子（浅間温泉）  
宮島啓子（浅間温泉）  
久保田美春（浅間温泉）  
新村扶美代（大村）  
一年間よろしくお願ひします。講演会などのお知らせは回覧や広報となります。  
宮島啓子（図書委員）  
新村扶美代（図書委員）